

鴨川ギャラリーの整備について

～橋の下の空間利用～

鴨川にある橋の下については、大部分が未利用であり、ホームレスが起居するなどの課題がある箇所もあります。

そこで、鴨川府民会議における議論を踏まえ、適正な管理に努めながら、橋の下の有効な利活用を図ることとし、その活用方策として鴨川ギャラリーの試行を行うこととし、今年度は、出町橋と二条大橋の右岸2箇所について、実施することとします。

1 鴨川府民会議で議論してきた「鴨川ギャラリー」

(1) 趣旨

鴨川が府民の憩いの場として整備が進む中で、橋の下についても、治水上の安全性を冒さない範囲で、鴨川にまつわる歴史・文化などの魅力を発信する貴重な場として利活用するとともに、可能な箇所では併せて、休憩施設を設置することにより、快適な利用をサポートし、鴨川のイメージアップを図る。

(2) コンセプト

- ① 「明るく、綺麗で、安心安全に利用できる」
- ② 「橋の近辺にまつわる歴史、文化などの情報を発信する」
- ③ 「休憩できる」

2 今年度の試行案

以下の観点から2箇所で試行を行い、設置後アンケートなど利用者・周辺住民などの意見を把握する。

- ① 高水敷幅に応じた整備（広い場合（二条）、狭い場合（出町））
- ② 利用者の反応（観光客（二条）、地域住民（出町））
- ③ 休憩施設のあり方（ベンチ（二条）、スツール（出町））
- ④ 木製柵のあり方（横格子（二条）、縦格子（出町））
- ⑤ 照明施設のあり方（展示物のみの照明（二条）、展示物と休憩施設の照明（出町））

3 今後の対応について

次年度以降の整備については、アンケートなど利用者・周辺住民などの意見を踏まえた上で必要な見直しを検討することとします。

① 現況



▲ 上流側より計画地を望む～多少暗いが圧迫感はない



▲ 下流側より計画地を望む



▲ 計画地正面～石積み天端にフェンスが設置されている



▲ 出町橋袂（下流側）



▲ 出町橋袂（上流側）



▲ 計画地上部、橋梁を見上げる



▲ 出町橋橋梁

② 整備内容（案）

- ・ 展示内容は、鴨川にまつわる歴史・文化の情報発信とする。
- ・ 当計画地では、出町橋や葵祭、下鴨神社などの古写真を使用して展示を行う。
- ・ ギャラリーは京都をイメージさせるデザインとする。
- ・ 護岸およびギャラリーに使用する素材は、時間の経過と共に風格が増し周囲の景観に馴染むエイジング（時間的積層性）の効く材を選定する。

□ 使用する素材やサインのイメージ



サインパネル（強化ガラス）～展示の更新が可能



サインパネル（エッチング）



縦柵イメージ～合成木材



横柵イメージ～レンガ



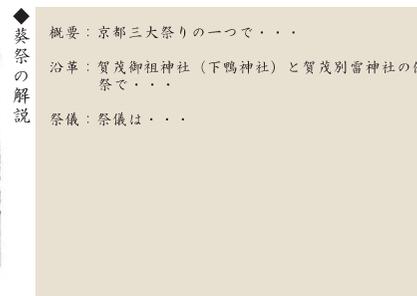
◆ 出町橋



◆ 出町橋



◆ 葵祭



◆ 葵祭の解説



◆ 下鴨紅の森



◆ 下鴨紅の森

① 現況



▲ 上流側より計画地を望む



▲ 下流側より計画地を望む



▲ 計画地へ侵入防止対策のため、空間の有効活用ができない



▲ 計画地

▲ 計画地上部、橋梁を見上げる
～老朽化しており、非常に汚れている

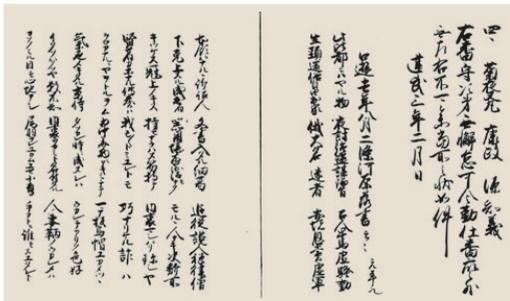
② 整備内容 (案)

- ・ 展示内容は、鴨川にまつわる歴史・文化の情報発信とする。
- ・ 当該計画地では、二条河原落書の掲示と解説に加えて、洛中洛外図などの展示を行う。
- ・ ギャラリーは京都をイメージさせるデザインとする。
- ・ 護岸およびギャラリーに使用する素材は、時間の経過と共に風格が増し周囲の景観に馴染むエイジング (時間的積層性) の効く材を選定する。

◆ 洛中洛外図



◆ 二条河原落書 (原文)



◆ 二条大橋



③ 整備プラン

